予手く差るおし内すの宜案施日、ご実当が、ご りとすに、通備で様皆年準季皆例の時のがちい員すが持し評議で餅忙評議福はおは、とにナロにか々コ様何早皆の員議祈祷は、厄除評致し ま年明正月の来願いま す。 おでいをお致しま す。 定伝おし上げます。

来年の年忌

一周忌	令和３年	廿三回忌	平成12年
三回忌	令和２年	廿五回忌	平成10年
七回忌	平成28年	卅三回忌	平成２年
十三回忌	平成22年	五十回忌	昭和48年
十七回忌	平成18年		

※当寺では廿七回忌の案内はしておりません

今回配布のものの中で、年忌の案内が封筒に入っていましたら、来年年忌に当たっております。まだいだい色の紙がなまた入っていましたら、本年の年忌のもので、未供養のもの拝みすのです。本年の年忌のものは12/20の各家先祖供養会で供養済のでも、ご一報下さい。また、こちらの手違いで供養すのもお手数ですが、寺までご一報頂ければ幸いです。目りま来年の年忌については、ご法事をする場合は寺で用意をしくお塔婆なお、すべ早いお

住職よりひと言

ま頂皆た初でせ日てでしで山さ7せまま月野も2さましヶ高年月行がけ1を本9修わかの力を らてのおこる験かに私を。な経日山。惑たとな1野た迷し力重3高しごま活貴月、まにりのなさご8でき様ならわ変かもまと後皆、日々怠らず精進し、今年もち大変有意義な修行とかこれら、今気持ちができました。。このようなご指導を頂きまして、ありがとうございました。これからも頑張って参ります。今後をしくお願いいたします。職宜住を導れ教さ頼ぬ信ら

薬王寺通信

令和３年冬号（18-12号・12月1日発行）
編集・発行　住職　堀部泰博

「ひび割れの壺」

インドのある水くみ人足(人夫)は２つの壺をもっていました。天秤棒の端にそれぞれの壺をさげ、首の後ろで天秤棒を左右に懸けて、彼は水を運びます。

その壺の１つにはひびが入っています。もう一つの完璧な壺が、小川からご主人様の家まで一滴の水もこぼさないのに、ひび割れ壺は人足が水を一杯に入れてくれても、ご主人様の家に着く頃には半分になっているのです。

完璧な壺は、いつも自分を誇りに思っていました。何故なら彼が作られたその本来の目的をいつも達成することが出来たから。ひび割れ壺はいつも自分を恥じていました。何故なら、彼が作られたその本来の目的を、かれは半分しか達成することが出来なかったから。

２年が過ぎ、すっかり惨めになっていたひび割れ壺は、ある日、川のほとりで水くみ人足に話しかけました。

「私は自分が恥ずかしい。そしてあなたにすまないと思っている。」

「何故そんな風に思うの？」

水くみ人足は尋ねました。

「何を恥じているの？」

「この２年間、私はこのひびのせいで、あなたのご主人様あなたの水を半分しか運べなかった。水が漏れてしまうから、まないのにが私はどんなに努力をしても、その努力に報われることがない。私はそれが辛いんだ。」

壺はくみ人足は、ひび割れ壺う ぃ気の毒に思い、そして言いました。

「これからご主人様の家に帰る途中、道端に咲いているきれい花をみてごらん。」

天秤棒にぶらさがられて丘を登っていくとき、ひび割れ壺はお日様に照らされ美しく咲き誇る道端の花に気がつきました。花は本当に美しく、壺はちょっと元気になった気がしましたが、自分の壺が人様の家に着く頃にはまた水を半分漏らしてしまっていたことを恥じて、水くみ人足に謝りました。すると彼は言ったそうです。

ながい君小人じきて、が主君でいて僕ごのが咲い、はまとかづ日僕まこし気毎、がるにには間る飾側水君年あをのる、2が家君ちての君でが落しこ。さ花らそ。いし？か。たな美い君だれがのかはんくとこた僕たてこはい？いいた様づいまし人気かををか主にた種水欠ご花いの中を、よ。」のづ花途花ら、だ端気にるにたん話はき、人まと、こか。恐ら人は割れを持っ分えく教自接すると、きつれみなてい子るのそいちめもうのい割ひびなクーニれ見つけたき、私た責でまいなびた。きとまがそょがもきはぞすでこりとどとでれまがるあこはでれ、し壺をになれ

道に側帰卓ったのる色しユ割とあ。るび。こぼすのを責めませんでした。
「君はダメだな。僕がこんなに頑張っているのに、僕の努力をムダにしているじゃないか」
いどかってなかったのでしょう。かれはそのままの壺を受け入れて、ならば その個性を活かすことができるか、考えたのです。
うそ毎日そのに水をやって、きれいな花をさかせ、ご主人様を喜ばせることができました。
完璧な壺のように一直線に効率よく、本来の目的をいつもない達成することができる人もいれば、半分しか達成させられなくても、知らず知らずのうちに数字には表すことができない「花」を咲かせられる人もいるのです。
私たちも、(ひび割れをもった)そのままの自分で、道に花を咲かせ、人を喜ばせることがきっとできるのです。

総代さん交代

本年亡くなった新精霊

命日順・敬称略　（次回の二夜三日法会は令和４年１２月です）

二夜三日法会の無い年は、１２/２０に先祖供養を行います。各家に配布した経木塔婆を本尊として、９時から本堂内で供養します。１２月１９日までに経木塔婆を寺の玄関に置いてある箱にお納め下さい。（墓や古札箱には納めないで下さい）

京都・東寺詣り（納弘法）

１２月２１日

お大師様の縁日21日に、東寺の弘法市の「納弘法」へお参りします。境内には沢山の露店が立ち、多くのお参りで賑わいます。正月用品など新年を迎える用意に、一度お参りしてはいかがでしょうか。お申し込みは寺までお願い致します。

１２月３１日

越年法要（午後９時頃から）
除夜の鐘（午後１１時半頃から）

１月１日～２月４日

厄除け祈祷大祭
厄除け祈祷・四国八十八ヶ所お砂踏み

１月７日・１０日

餅持ち準備

１月１２日

餅持ち